

令和5年度 第2回大潟区地域協議会次第

日時 令和5年5月25日(木) 午後6時30分から
会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 自主的審議事項について

4 その他

・人魚館サポーターズクラブ準備会からの報告

・次回地域協議会開催予定日 月 日 ()

5 閉会

自主的審議事項のテーマについて

令和5年5月25日(木)
第2回大潟区地域協議会
資料No.1

No.	件名	内容	提案委員	備考
1	海と森の郷(さと)	①情報発信(SNS等) ②日本海のうの浜の魅力、水と森公園の魅力 ③イベント ・海と森で体力作り(親子で遊ぼう、自然の中でのフィットネス、ウォーキング) ・うの浜…浜汁(かいせん) ・水と森…森汁(きのこ、山茶)	五十嵐(公)委員	
2	「地域独自の予算」概要の検証	①「地域独自の予算」の概要を精査し、問題点、改善点を洗い出して市に具申する。 ②大潟地区提案件数を向上するための協議する。	金澤委員	
3-①	大潟区の地域振興・活性化について	①大潟野外活動施設の公設としての継続について(アスレチック、キャンプ場) 「公の施設の適正配置計画」では、廃止等とされ、「利用実態を踏まえ、地域団体への貸付又は譲渡」とされ、令和6年度を期限としている。 平成4年「新潟県森林浴の森100選」に選ばれた海浜公園にある施設であり、新潟公園ガイド(新潟日報フレップ)の中で、「大潟シーサイドアスレチック」と紹介、また、大潟町小4年生が「みりょくがたくさん大潟キャンプ場」紹介パンフを発行している。	君波委員	
3-②		②大潟区内における「北国街道」の確定について 地域活性化のテーマに「鶴の浜温泉、北国街道・潟町宿」はじめとする大潟の歴史遺産や観光資源…について搭載されており、「佐渡島の金山」が世界遺産に登録されると、出雲崎～江戸へ「金銀」を運んだとされる「北国街道」が注目されるのは必定であり、大潟区内の街道を確定し観光資源とする。 併せて、失いつつある大潟区の象徴でもある松の緑の保全活動について。	君波委員	
3-③		③「(仮称)まちづくりプロジェクト(或いはワーキング)」の発足 区内各町内会(隣組も含む)、或いは各種団体において、担い手不足が顕著であり、存続が懸念される状況にもある。背景には職場環境、高齢化、車社会、デジタル依存等が考えられる。 かつては、職場や労働組合の場で、或いは地域の青年会活動や自治体の取組によって、社会活動、地域経済活動、社会貢献活動等々について、「対面」による学び(話し合い)の場が多くなった。 現下の主たる担い手である【中高年層】にはその機会が極めて少ないように思われる。 区内に核となる「10～15人のチーム」を立ち上げ、持続可能な組織を構築する。 その指導を新たに就任した上越市創造行政研究所の「藤山浩所長」にお願いする。(※早い時期に藤山所長に講演を依頼する。)	君波委員	
4	大潟海岸の砂浜を蘇らせ、大潟の魅力向上させる事業	かつて大潟・柿崎海岸は、冬の強烈な季節風と高波によって浜辺にあった砂浜や砂丘がえぐり取られ、犀潟から九戸浜まで護岸工事が施されました。防潮堤の設置や護岸ブロックの積み上げや緩傾斜護岸などの方法で工事がされています。 しかし、直江津港の防波堤の延伸に伴い、海岸に砂が付きにくくなり、着くのはプラスチック製容器やごみなど木材・タイヤなどで海岸に面する町内会では春先に一斉に「一斉の海岸清掃」を毎年行なっています。 そこで、大潟の魅力のひとつである大潟海岸から眺める夕日や風景、砂浜からの海での遊びや水泳は「浜っ子」の気質を育成する必要なものです。 今、鶴の浜海水浴場で砂浜を確保するために取られている、沖合いにコンクリート製波消しブロックを設置する方法をキャンプ場のある四ツ屋浜から潟町海岸範囲に実施すべきと考えます。 四ツ屋浜海岸から沖合いにかけて京都大学の波浪観測所の栈橋があったり、陸上に「観測所」があり、観測及び研究が行なわれていたので、海岸浸食されても対策は研究が終了し栈橋が撤去されるまでされなかったという経過があります。 大潟の魅力のひとつである野外活動施設の松林に囲まれたキャンプ場とアスレチック場及び遊歩道の利用促進や年々砂丘が浸食されている現状を食い止めることにもなります。 意見書にまとめ中川市長に提案しましょう。	佐藤会長	
5	松原遠くの「海」	小山作之助が作詞作曲したといわれる「松原遠く「海」」を再認識し歌と共に大潟の魅力を広く発信することにより地域活性化を目指す。 ※活性化の方向性の内容より	新保委員	
6		【テーマの案】 頸北地域住民のつながりを活かした頸北地域の振興策を提案する。 大潟区・柿崎区・吉川区・頸城区の共通課題はあるか。共通の将来像を描くメリットはあるか。 4区共通(共同)で行う地域活性化事業も検討する。 審議期間：5月から9月末で審議を完了。 9月末に意見書を完成させて、提出する。(新年度予算に間に合わせる。) 【自主的審議事項の範囲】 地域の範囲を狭くすればするほど、課題解決は困難になるおそれがある。 地域の範囲を広げたくて地域課題や地域の将来像を議論し、行政や市民に建設的な提案をした い。	土屋委員	

No.	件名	内容	提案委員	備考
7	商店が遠い地域における買物難民の解消	近年高齢者による運転免許証の返納が話題になっていますが、返納しにくいのは行動の自由が制限されるせいだと思います。せめて、食料品の買い物だけでも、移動販売車等による支援が受けられれば、不安も多少減るのではないのでしょうか。他地域では実施されているとの事ですので、ぜひこの大潟区でも検討していただきたい。	中野委員	
8	大潟野外活動施設アスレチック場の今後の活用について	現在のアスレチックのトリム施設は開設後40年が経過しており、遊具の老朽化が進んでおり危険な遊具もあり一部修繕を行った物もあるが、今後修繕となるとかなり多額な資金が掛かると聞いている。併せて令和5年度で市の指定管理契約も終了し、令和6年度から指定管理料も廃止になり厳しい状況にもなりかねない。大潟観光協会では今後の方針を検討中との事であるが、方向性が出た段階で良いと思うが、キャンプ場一帯を含め、今後の活用方法などを検討をしたらどうか。	俵木（晴） 副会長	
9	文化・芸術関連の管理団体の設置	以前、文化協会があり、踊り等の団体や発表の場を提供する団体でした。解散に伴い、まちづくり大潟で発表の場を提供する支援を行ってきました。しかし、団体そのものの高齢化やコロナの影響で実施出来ない状況です。以前は、解散時にどんな話し合いがされたか不明ですが、現在のまちづくり大潟の体制では、運営はできません。再度、運営団体や関係団体で将来の大潟区の文化を維持するためにも団体を立ち上げて将来に向けた運営が必要ではないかと考えます。	細井委員	
10	潟町宿の佐渡御金荷の継ぎ立て	新潟県では、ただいま佐渡金銀山の世界遺産登録にむけて申請中です。佐渡島で採掘された金銀は出雲崎宿より日本海沿いの北国街道を利用し江戸まで運ばれました。大潟区の江戸時代潟町宿では、通常の荷物は潟町宿単独で柿崎宿あるいは黒井宿へ継ぎ立てています。（継立てとは、宿駅で人馬を替えて、貨客を送り継ぐこと）ですが、佐渡御金荷については、特別に黒井宿からの人足といっしょに、鉢崎宿（柿崎宿といっしょに）から運ばれてきた佐渡御金荷を春日新田宿まで運んでいます。このように、当時は東西の両宿場と親密な関係にありました。今この機会に、柿崎区と連携し潟町、柿崎間の歴史の道と、その道沿いの歴史ある史蹟などを歩いて再認識し、佐渡金銀山が登録されたなら、大々的に北国街道をアピールできたらと思います。おそらく北国街道沿いの各市町村も計画しているものと思います。大潟区も乗り遅れることのないよう、今から準備計画していったらどうでしょうか。	濁川 清夏	

自主的審議事項テーマの質問内容について

No	項目	質問内容	質問者
4	大潟海岸の砂浜を蘇らせ、大潟の魅力を向上させる事業	海岸保全について、過去に「柿崎・大潟の海岸をよみがえらせる会」があり、海岸浸食対策を県・市その他の関係機関へ働きかけをしてきた経過があります。直江津港の堤防延伸による影響は明白であり（京大防災研）、土底浜以東、鶉の浜海岸、柿崎海岸で浸食が進行しています。柿崎区に呼びかけ、地域協議会レベルで「対策団体」を作れないものか、相談してみしてほしいと思います。（2月28日に視察があり現地観察）	君波委員
8	大潟野外活動施設アスレチック場の今後の活用について	現在は、観光協会が指定管理者となっています。今後の方針を検討中とのことですが、現状でどの程度まで話しが進んでいるのでしょうか。	君波委員
9	文化・芸術関連の管理団体の設置	かつて文化協会があつて、初期のころ「地域活動支援事業」によって助成金を得て活動をしていましたが、突然解散をし、経緯は不明です。直後に「白の器」ができ、活動をしております。まちづくり大潟の方で、解散の経緯を把握されていないのかどうか。私もかねてから「文化協会」の再設を願っていましたので、かつて「白の器」を作ったように、まちづくり大潟で「核」となる集まりを立ち上げてもらえないのでしょうか。	君波委員
	「地域活性化の方向性」との関連について	「大潟区の活性化に向けて」5項目をあげました。今後、これらについて協議し、肉付けして、具体的な方向性としてまとめ、大潟区の皆さん（関係諸団体含む）に示し、ベクトル合せをする中で「まちづくり」を進める必要があるものと思います。従って、5項目の1件々について自主的審議をし、具現化の手立てを検討する必要があるものと思いますが、事務局としてどうお考えでしょうか。項目を挙げ、担当課へ提出するだけでよいのでしょうか。（協議の結果、意見書の提出、地域独自の予算に結び付ける）	君波委員